

2015年1月6日

報道関係者 各位

ソニー損害保険株式会社

～2015年 新成人のカーライフ意識調査～

**【新成人の免許保有／車所有実態】**

新成人の運転免許保有率57%、マイカー所有率は13%  
“オートマ限定”免許の保有率 都市部の新成人では増加傾向が顕著

**【新成人にとっての車の価値】**

車に対するイメージを表す漢字 1位「楽」、2位「車」、3位「速」  
安全運転意識の向上? 「危」・「怖」が年々上昇

自動運転車が実現したら? 「運転しなくていいからラク」62%

**【“若者の車離れ”意識】**

「車に興味がある」46%も「所有する経済的な余裕がない」71%  
「同年代で車持ちはカッコイイ」都市部では21pt減

**【カーライフのコスト意識】**

カーライフに掛けられるお金の平均額「月18,656円」 昨年比で3,000円近く増加  
カーライフに必要な手取り月収 平均23万円、都市部は地方より3万円多く必要

**【新成人に人気の車ランキング】**

今年の新成人が欲しい車 総合1位は「プリウス」に  
「フィット」と「フォルクスワーゲン」は大幅にランクアップ

**【一緒にドライブしたい新成人】**

新成人同士で一緒にドライブに行きたい  
総合1位「川口 春奈」さん、2位「羽生 結弦」さん、3位「二階堂 ふみ」さん

ソニー損害保険株式会社 (URL: <http://www.sonysonpo.co.jp/>) 本社: 東京都大田区蒲田5-37-1 アロマスクエア11F、代表取締役社長 丹羽淳雄)は、2014年11月20日～11月28日の9日間、今年の新成人(1994年4月2日～1995年4月1日生まれ)に対し、新成人のカーライフ意識調査をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答を得ました。

## アンケート総括

**【新成人の免許保有／車所有実態】**

- ◆ 新成人の運転免許保有率57%、マイカー所有率は13%
- ◆ “オートマ限定”免許の保有率 都市部の新成人では増加傾向が顕著

今年の新成人(1994年4月2日～1995年4月1日生まれ)1,000名に、普通自動車運転免許の保有状況を聞いたところ、「普通自動車免許を持っている(オートマ限定)」が31.9%、「普通自動車免許を持っている(マニュアル)」が25.2%となり、合計で運転免許の保有率は57.1%となりました。

男女別に運転免許保有率をみると、男性は 62.2%で女性(52.0%)に比べて高くなりました。居住地別では、都市部(※1)では 47.4%、地方では 59.7%となっています。(図 1)

※1：市・区における人口ランキングの上位都市(1位～8位)である、北海道札幌市、東京都 23 区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、京都府京都市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市を「都市部」とし、それ以外を「地方」とした。

また、オートマ限定の運転免許保有率を過去の調査結果(2012年～2014年新成人)と比較すると、保有率は年々増加しており、3年前の新成人よりも 5.7ポイント高く(2012年 26.2%→2015年 31.9%)なっています。特に、都市部では3年前の新成人よりも 11.2ポイント高く(2012年 18.8%→2015年 30.0%)なり、地方に比べてより顕著な増加傾向がみられました。(図 2)

続いて、全回答者 1,000 名に対し、車(バイクを除く)の所有状況を聞いたところ、「自分の車を持っている」が 12.9%、「自分の車を購入する予定がある」が 6.6%、「購入する予定はないが、いずれは欲しい」が 54.3%、「購入するつもりはない」が 26.2%となりました。

居住地別にみると、都市部のマイカー所有率(「自分の車を持っている」の割合)は 4.7%、地方では 15.1%と、地方は都市部の 3 倍以上の所有率となっています。(図 3)

また、マイカー所有率を過去の調査結果(2010年～2014年新成人)と比較すると(※2)、ほぼ横ばいの推移ながら、2013年以降、やや減少傾向(2013年 15.2%→2015年 12.9%)がみられています。(図 4)

※2：運転免許保有者に限定して車の所有状況を質問した 2010年～2014年の調査結果を、全回答者(新成人全体)を分母とした割合に算出しなおし、新成人のマイカー所有率として比較した。

### 【新成人にとっての車の価値】

◆ 「車は単なる移動手段」54%、女性は 61% 男性は「運転自体を楽しむもの」が 30%

◆ 車に対するイメージを表す漢字 1位「楽」、2位「車」、3位「速」

◆ 安全運転意識の向上？ 車のイメージを表す漢字で「危」・「怖」が年々上昇

◆ 自動運転車が実現したら？「運転しなくていいからラク」62%、都市部の女性は 72%

全回答者 1,000 名に対し、車(バイクを除く)の価値として最もあてはまるものを聞いたところ、「単なる移動手段としての道具」が 53.8%で過半数となり、「運転することそのものを楽しむもの」が 23.2%、「家族・友人・恋人などとの時間に楽しみをもたらすもの」が 19.6%、「自己表現の手段・ステータスシンボル」が 2.9%となりました。車の価値を“移動手段・道具”として捉えている方が過半数ですが、“楽しむもの・楽しみをもたらすもの”と捉えている方も少なくないようです。

男女別にみると、女性は「単なる移動手段としての道具」が 61.0%と男性(46.6%)よりも高く、男性は「運転することそのものを楽しむもの」が 30.2%と女性(16.2%)より高くなりました。(図 5)

続いて、車に対するイメージを表す漢字 1 文字を自由回答で聞いたところ、1位は「楽」(261件)となりました。選んだ理由をみると、『車は移動が楽になる上に生活に楽しみをもたらしてくれるから』など、“ラク”と“たのしい”の意味で選ばれていることがわかります。

次いで、2位は「車」(57件)となりました。『車は車でしかないから』といった理由が主となっています。車の価値を“移動手段・道具”と捉える方が多い新成人らしい回答といえそうです。3位は「速」(54件)で、『自分が今出来る移動手段の中で一番速いから』といった理由が挙げられました。(図 6)

そのほか、今年 5 位になった「危」(46件)や、今年 11 位になった「怖」(20件)は順位が年々上昇している傾向が特徴的です。これらの漢字は、『危険な乗り物であることをきちんと理解し

ておかないといけない(危)』や『楽だけど怖い乗り物(怖)』など、“車は「楽(“ラク”、“たのしい”）」である一方、交通事故などの危険も存在する”ことが理由に挙げられています。年々、若い方の間で、安全運転についての意識が高まっていることの表れではないでしょうか。(図7)

さらに、新成人の車に対する価値観をより掘り下げて探るために、将来実現するかもしれない自動運転機能の付いた(運転手が必要ない)車について、どのように考えているか質問を行いました。

全回答者 1,000 名に対し、自動運転機能を“運転しなくていいからラク”と感じるか、“運転しないのはつまらない”と感じるか聞いたところ、『運転しなくていいからラク』(「どちらかといえば～」を含む)が 61.6%、『運転しないのはつまらない』が 38.4%となりました。

男女・居住地別に『運転しなくていいからラク』の割合を比較すると、都市部の女性では 72.2%とより高い割合となっています。

さらに、自動運転車が普及する未来像に“ワクワクする”か、“恐ろしさを感じる”か聞いたところ、『ワクワクする』が 49.2%、『恐ろしさを感じる』が 50.8%となりました。運転手が必要なくなるような全自動運転の自動車が普及する未来像に心を踊らせる方がいる一方で、交通環境などの変化に不安を覚える方も同程度いるようです。(図8)

### 【“若者の車離れ”意識】

◆ 「車に興味がある」46%も「所有する経済的な余裕がない」71%

◆ 「同年代で車持ちはカッコイイ」都市部では 21pt 減

全回答者 1,000 名に対し、“若者の車離れ”と呼ばれる状況について聞いたところ、≪“若者の車離れ”とは自分自身のことだ≫の項目に対し、『あてはまる』(「とてもあてはまる」と「ややあてはまる」の合計)が 37.9%、『あてはまらない』(「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計)が 33.5%、「どちらとも言えない」が 28.6%となりました。“若者の車離れ”について、自分自身がそうだと思う方と、そうではないと思う方がおよそ半々に分かれています。

そのほかの項目では、≪車に興味がある≫に『あてはまる』が 45.5%で多数派に、≪車を所有する経済的な余裕がない≫では『あてはまる』が 70.7%で多数派になっています。“車に興味がないわけではなく、所有する余裕がない”ことが、多くの新成人の実感なのではないでしょうか。(図9)

さらに、≪同年代で車を所有している人はカッコイイと思う≫の項目に『あてはまる』と回答した割合を、過去の調査結果(2011年～2014年新成人)と比較すると、2012年以降、減少の傾向が続いており、3年前の新成人と比較すると、9.5ポイントの減少(2012年 54.2%→2015年 44.7%)となっています。特に、都市部ではこの傾向が顕著に表れ、20.7ポイントの減少(2012年 58.7%→2015年 38.0%)となりました。都市部の新成人では、同年代で車を所有している人に魅力を感じることが少なくなっているようです。(図10)

### 【カーライフのコスト意識】

◆ カーライフに掛けられるお金の平均額「月 18,656 円」 昨年比で 3,000 円近く増加

◆ カーライフに必要な手取り月収 平均 23 万円、都市部は地方より 3 万円多く必要

全回答者 1,000 名に対し、車がある生活(カーライフ)をするにあたり、1ヵ月いくらまでなら掛けられるかを聞いたところ、掛けられない、掛けたくないとする意見の「0円」は 9.0%、「1円～5,000円」は 21.9%、「5,001円～10,000円」は 22.2%となり、合計でカーライフに掛けられるお金は1ヵ月あたり『10,000円以下』とする回答が 53.1%となりました。また、全体の平均額は 18,656 円となっています。(図11)

車に対して感じる価値別に平均額を比較すると、車を「単なる移動手段としての道具」と捉えている層は平均 16,613 円と全体の平均額よりも低めの水準となり、「運転することそのものを楽しむもの」と捉えている層(平均 21,214 円)や「家族・友人・恋人などとの時間に楽しみをもた

らすもの」と捉えている層(平均 21,401 円)では 2 万円を超える水準となりました。(図 12)

また、カーライフに掛けられるお金の平均額を過去の調査結果(2012 年~2014 年新成人)と比較すると、昨年までは減少傾向(2012 年 20,709 円→2014 年 15,870 円)でしたが、今年は昨年比で 3,000 円近くの上昇(2014 年 15,870 円→2015 年 18,656 円)に転じました。(図 13)

それでは、新成人はどの程度の収入で車を維持していけると考えているのでしょうか。車がある生活(カーライフ)をするにあたり、必要な手取り月収はどの程度か聞いたところ、「16 万円~20 万円」が 33.6%、「21 万円~25 万円」が 11.3%、「26 万円~30 万円」が 17.3%となり、平均額は 23.2 万円となりました。(図 14)

居住地別にみると、都市部は平均 25.5 万円となり、地方(22.5 万円)よりも 3 万円高くなりました。駐車場代などの兼ね合いで月々の支払いがかさみがちな都市部の新成人は、車を維持するためにより多くの収入がないと難しい、とイメージしている様子がうかがえました。(図 15)

## 【新成人に人気の車ランキング】

### ◆ 車の購入予算「100 万円超」が半数を超える 2011 年以降の新成人で初

全体の平均額は「189 万円」で昨年比 37 万円増

### ◆ 今年の新成人が欲しい車 総合 1 位は「プリウス」に

「フィット」と「フォルクスワーゲン」は大幅にランクアップ

### ◆ 今年の新成人が欲しい車 男女別トップ 3

男性 1 位「BMW」2 位「プリウス」3 位「フィット」

女性 1 位「キューブ」2 位「パッソ」3 位「プリウス」

今後、車を購入する可能性がある運転免許保有者と取得予定者 730 名に対し、車を購入する際の予算(上限額)を聞いたところ、『100 万円以内』とする回答が 5 割弱(48.1%)となり、『101 万円以上』が過半数(51.9%)となりました。この質問は 2011 年 1 月に発表した新成人のカーライフ意識調査以降、同様の形式で毎回実施していますが、予算 100 万円超の割合が半数を超えたのは、今年の新成人が初めてとなります。(図 16)

また、購入予算の平均額は 2012 年以降、年々上昇傾向が続いており、今年は昨年(平均 152 万円)から 37 万円増加し、平均 189 万円となりました。(図 17)

続いて、購入するならどの車が欲しいか複数回答で聞いたところ、1 位は「プリウス(トヨタ)」(16.3%)、2 位は「キューブ(日産)」(13.8%)、3 位は「BMW(3 シリーズ/5 シリーズなど)」(13.6%)となりました。プリウスは 2010 年の調査開始以来、毎年上位 5 位以内に欠かさずランクインしていましたが、初の“新成人が欲しい車ナンバーワン”となりました。また 4 位の「フィット(ホンダ)」(12.9%)は昨年 14 位から 10 ランクアップ、5 位の「フォルクスワーゲン(Golf/Polo など)」(11.4%)は昨年 24 位から 19 ランクアップと、それぞれ人気急上昇し、初のベスト 5 入りとなりました。(図 18)

男女別にランキングをみると、男性の 1 位は「BMW(3 シリーズ/5 シリーズなど)」(18.1%)、2 位は「プリウス(トヨタ)」(16.6%)、3 位は「フィット(ホンダ)」(14.5%)となっています。そのほか、4 位「アウディ(A1/A3 など)」(13.7%)、5 位「レクサス(LS/CT など)」(13.2%)、7 位「メルセデスベンツ(C クラス/E クラスなど)」(11.7%)など的高级車ブランドが上位に散見されました。

一方、女性の 1 位は「キューブ(日産)」(22.1%)、2 位は「パッソ(トヨタ)」(16.3%)、3 位は「プリウス(トヨタ)」と「マーチ(日産)」(ともに 16.0%)となりました。そのほか、5 位「モコ(日産)」(15.7%)や 6 位「タント(ダイハツ)」(14.8%)、7 位「ノート(日産)」(13.4%)など、上位に軽自動車やコンパクトカーが多く挙がりました。(図 19)

**【一緒にドライブしたい新成人】****◆ 新成人同士で一緒にドライブに行きたい**

**総合1位「川口 春奈」さん、2位「羽生 結弦」さん、3位「二階堂 ふみ」さん**

**男性が選ぶ1位「川口 春奈」さん、2位「川栄 李奈」さん、3位「佐野 ひなこ」さん**

**女性が選ぶ1位「羽生 結弦」さん、2位「川口 春奈」さん、3位「二階堂 ふみ」さん**

全回答者1,000名に対し、今年の新成人(同じ学齢:1994年4月2日~1995年4月1日生まれ)で、一緒にドライブに行きたい有名人を複数回答で聞いたところ、1位はファッションモデルでデビューし、現在は女優として活躍中の「川口 春奈」さん(17.1%)、2位は昨年(2014年)のソチオリンピック、フィギュアスケート男子シングルで金メダルを獲得した「羽生 結弦」さん(16.8%)、3位は独特なキャラクターで人気を集めているファッションモデル兼女優の「二階堂 ふみ」さん(10.7%)、4位はAKB48の「川栄 李奈」さん(10.1%)、5位は同率で、ももいろクローバーZのリーダー「百田 夏菜子」さんと女性シンガーソングライターの「家入 レオ」さん(ともに8.5%)となりました。(図20)

男女別にみると、男性と一緒にドライブに行きたい相手のトップ3は、1位「川口 春奈」さん(18.0%)、2位「川栄 李奈」さん(13.2%)、3位「佐野 ひなこ」さん(11.2%)となりました。そのほか、野球選手の「大谷 翔平」さん(5位、8.2%)や「藤浪 晋太郎」さん(8位、6.6%)が上位に挙がりました。

女性と一緒にドライブに行きたい相手のトップ3は、1位「羽生 結弦」さん(25.6%)、2位「川口 春奈」さん(16.2%)、3位「二階堂 ふみ」さん(12.2%)となりました。そのほか、ファッションモデルの「栗原 類」さん(5位、9.6%)やフィギュアスケート選手の「村上 佳菜子」さん(7位、7.2%)が上位に挙がりました。(図21)

---

**☆自動車保険ガイド（ソニー損保のウェブサイト）**

新成人はもちろん、はじめて自動車保険を検討されている方にもわかりやすく、自動車保険の選び方について解説しています。

<http://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde000.html>

---

※過去5回の調査結果の詳細は、下記URLにて公開しています。

- ・2010年 新成人のカーライフ意識調査

[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/01/20100129\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2010/01/20100129_1.html)

- ・2011年 新成人のカーライフ意識調査

[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/01/20110114\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2011/01/20110114_1.html)

- ・2012年 新成人のカーライフ意識調査

[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/01/20120105\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2012/01/20120105_1.html)

- ・2013年 新成人のカーライフ意識調査

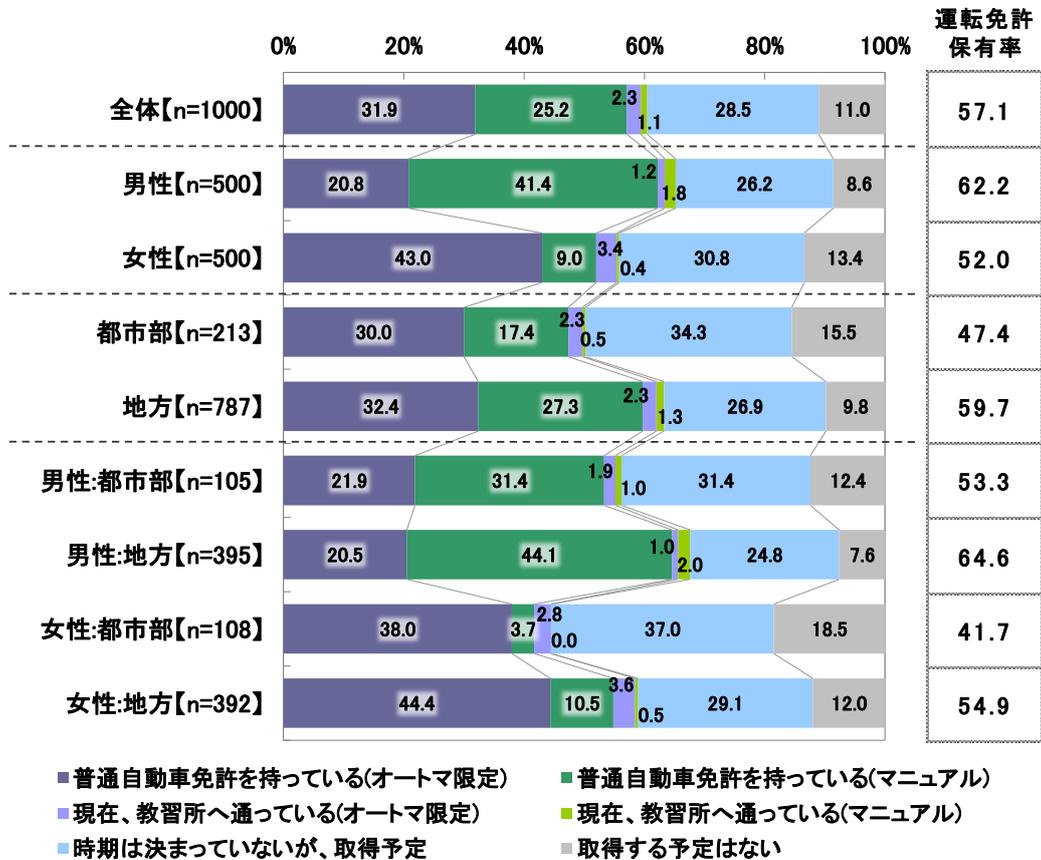
[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2013/01/20130110\\_1.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2013/01/20130110_1.html)

- ・2014年 新成人のカーライフ意識調査

[http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2014/01/20140109\\_01.html](http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2014/01/20140109_01.html)

(図1)

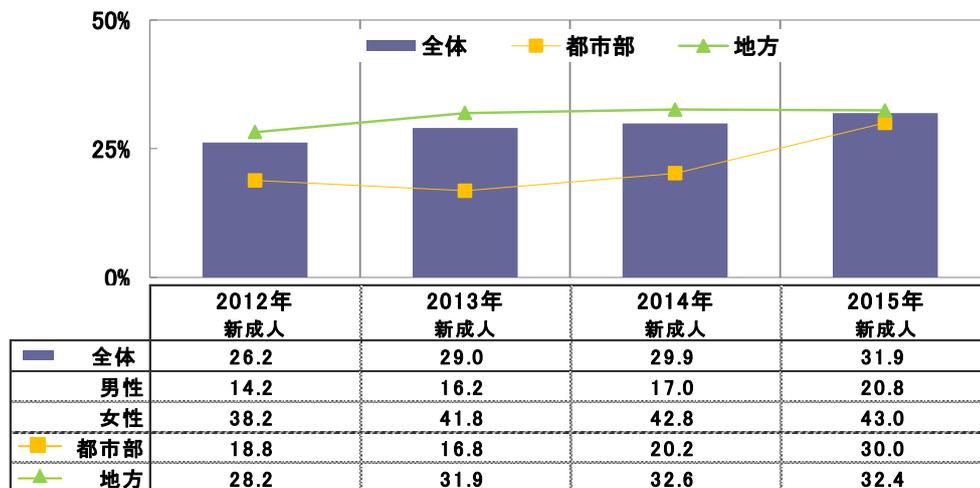
◆普通自動車運転免許を持っているか ※単一回答



(図2)

◆オートマ限定の運転免許保有率 【2012年～2015年:経年比較】

※単一回答より、「普通自動車免許を持っている(オートマ限定)」の割合を抜粋

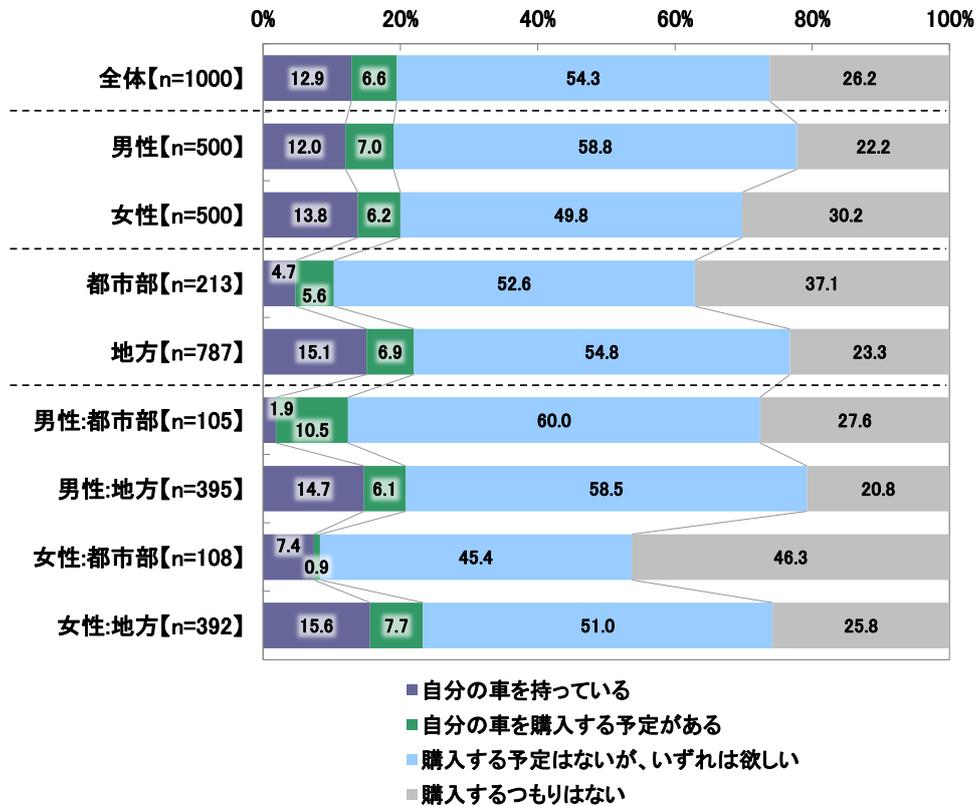


※2010年・2011年は該当選択肢なし

(%)

(図3)

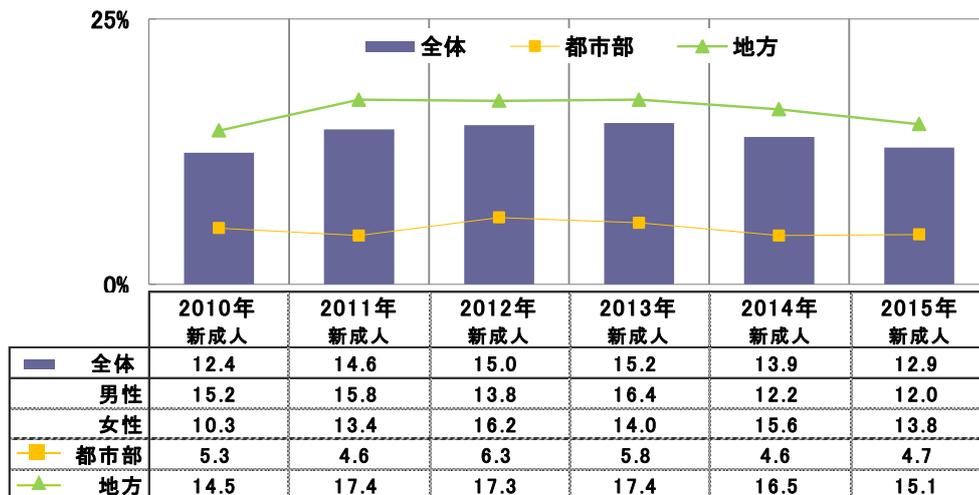
◆車(バイクを除く)を持っているか ※単一回答



(図4)

◆マイカー所有率 【2010年～2015年:経年比較】

※単一回答より、「自分の車を持っている」/「自分の車を所有(計)」の割合を抜粋



※2010年～2014年は分母を免許保有者から全回答者(新成人全体)に変更し、算出 (%)  
 ※2015年調査から、家族共用の車の有無を問わない形に選択肢を変更している

(図5)

◆あなたにとっての車(バイクを除く)はどのような価値があるか  
 ※単一回答



- 単なる移動手段としての道具
- 運転することそのものを楽しむもの
- 家族・友人・恋人などとの時間を楽しみをもたらすもの
- 自己表現の手段・ステータスシンボル
- その他

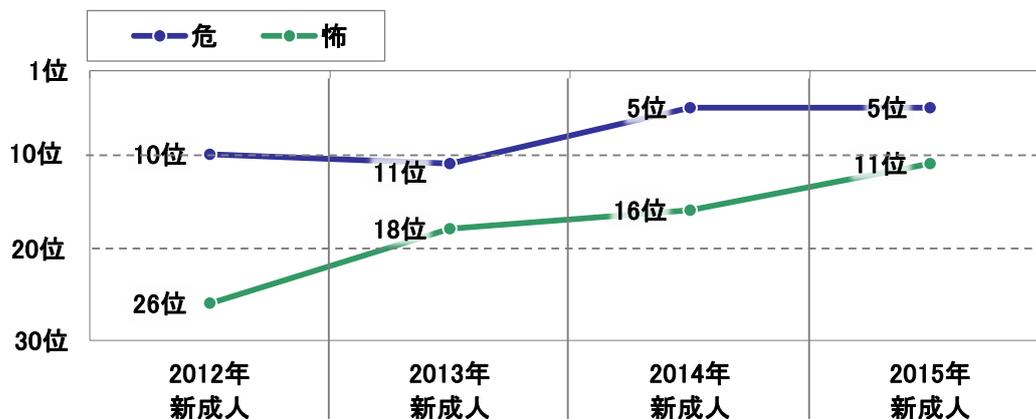
(図 6)

◆車に対するイメージを漢字1文字で表すと ※自由回答  
 ※全体【n=1000】

順位 (件数)	漢字一文字	選んだ理由(抜粋)
1位 (261件)	<b>楽</b>	車は移動が楽になる上に生活に楽しみをもたらしてくれるから。 田舎なので車があるととても楽になるし、生活が楽しくなるから。 楽チンで楽しいから。
2位 (57件)	<b>車</b>	車は車でしかないから。 そうしか思わなかったから。 車は車。
3位 (54件)	<b>速</b>	自分が今出来る移動手段の中で一番速いから。 車は容易に速さを出せる乗り物だから。 何分もかけていた移動が短縮されるから。
4位 (50件)	<b>動</b>	自動車の動と、動くという意味。 行動範囲が広がるから。
5位 (46件)	<b>危</b>	交通事故時、人の命をも奪う危険性を秘めているから。 危険な乗り物であることをきちんと理解しておかないといけない。
6位 (37件)	<b>走</b>	走りのよさが重要だから。
7位 (35件)	<b>便</b>	移動手段としても、交友関係にしても車はとても便利だから。
8位 (26件)	<b>足</b>	田舎で、車がないと何処にもいけないから。
	<b>金</b>	お金がとてかかる。お金に余裕がないと持てない。
10位 (22件)	<b>移</b>	遠くまで移動できる。

(図 7)

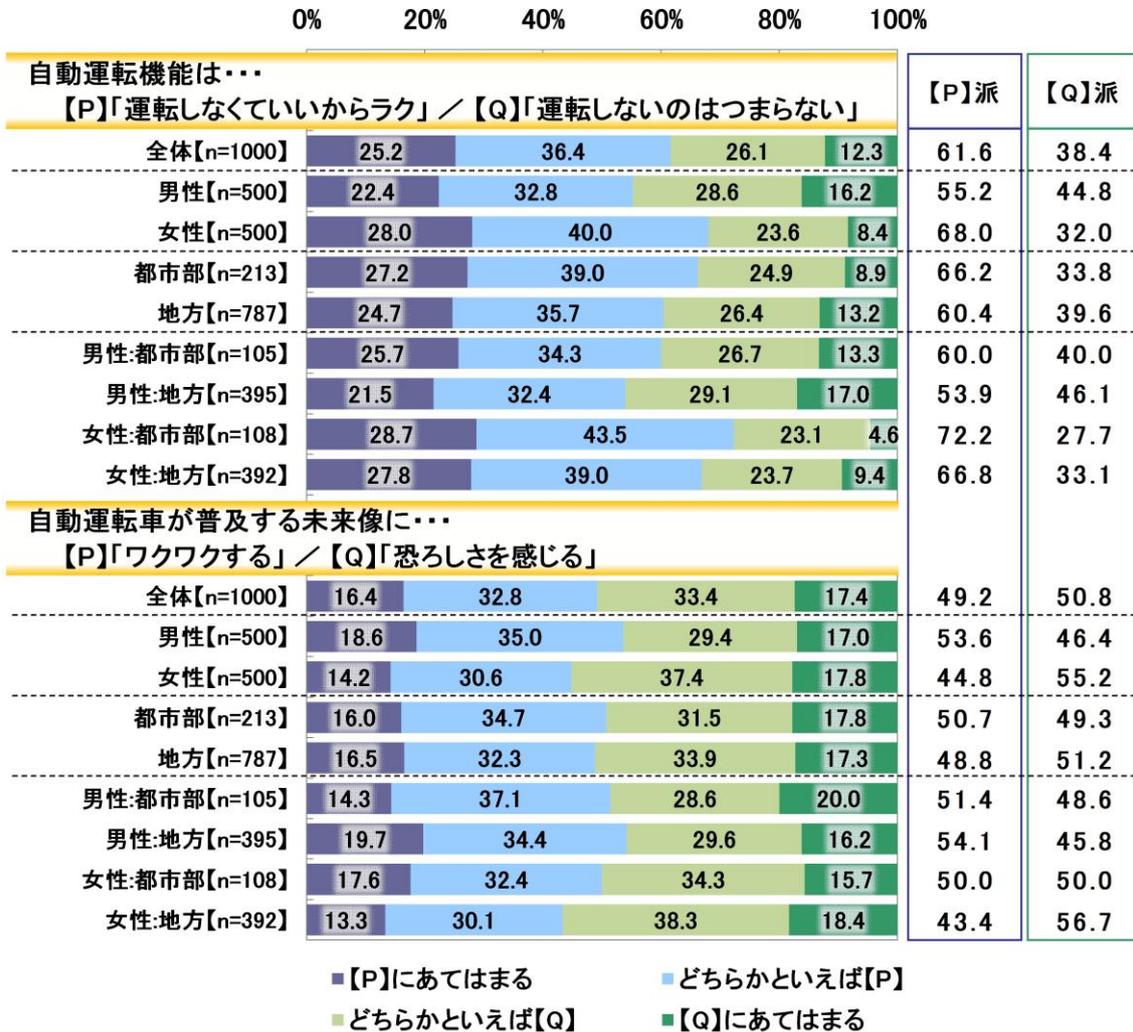
◆車に対するイメージを表す漢字 【2012年～2015年:経年比較】  
 ※自由回答より抜粋



※2010年・2011年は該当設問なし

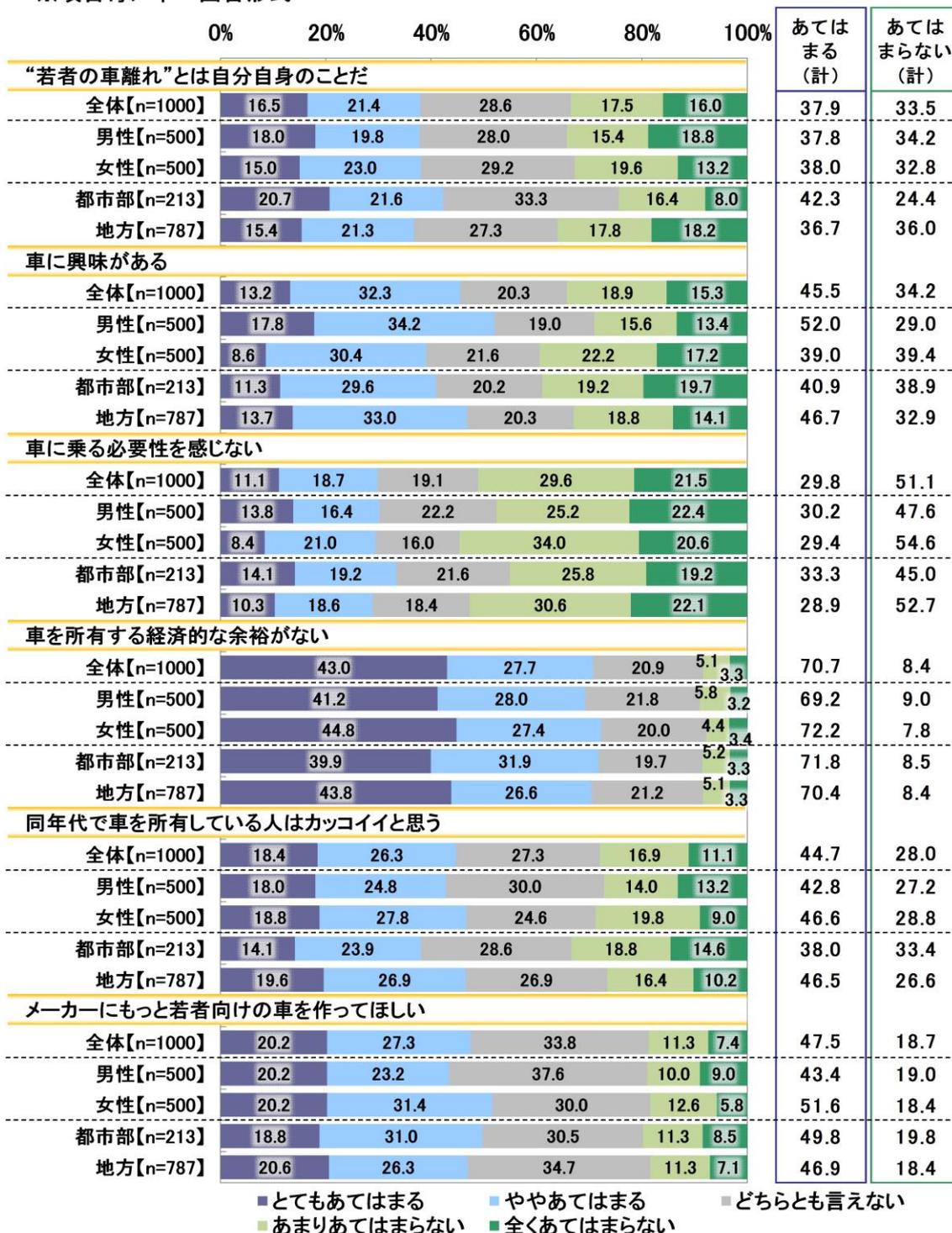
(図 8)

◆自動運転機能の付いた(運転手が必要ない)車についての意識  
 ※項目毎に単一回答形式



(図 9)

◆“若者の車離れ”と呼ばれる状況についての意識  
※項目毎に単一回答形式

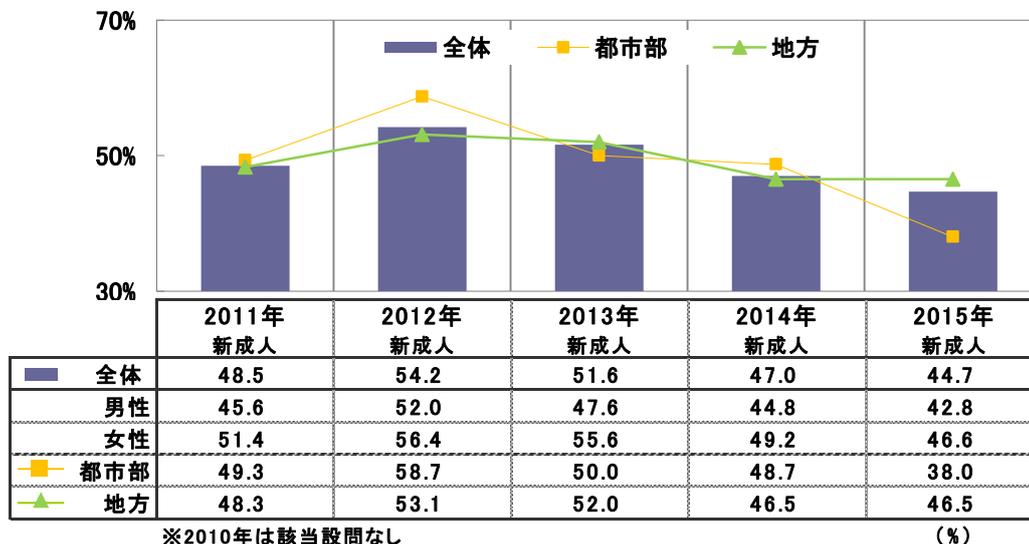


(図 10)

◆同年代で車を所有している人はカッコイイと思う割合

【2011年～2015年:経年比較】

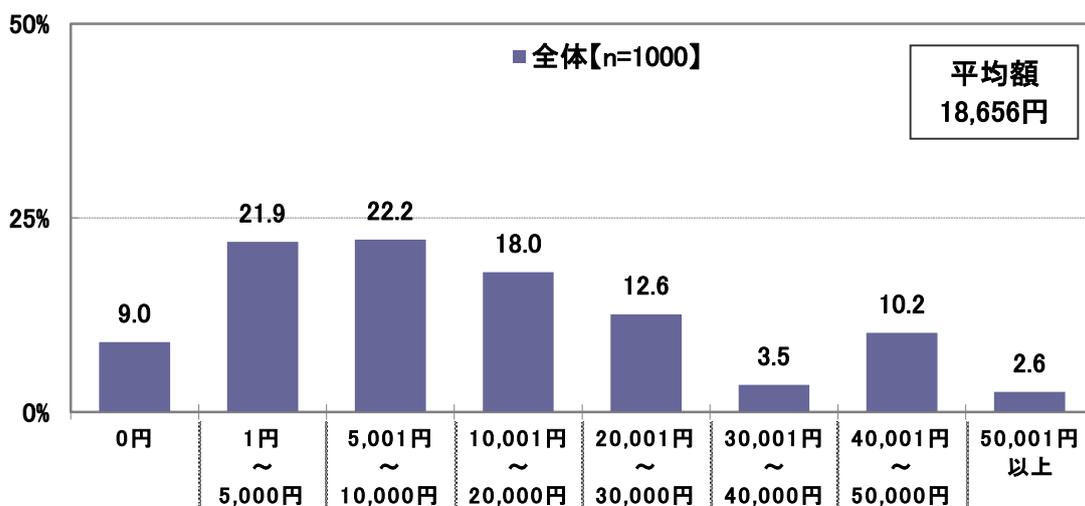
※単一回答より、「あてはまる(計)」の割合を抜粋



(図 11)

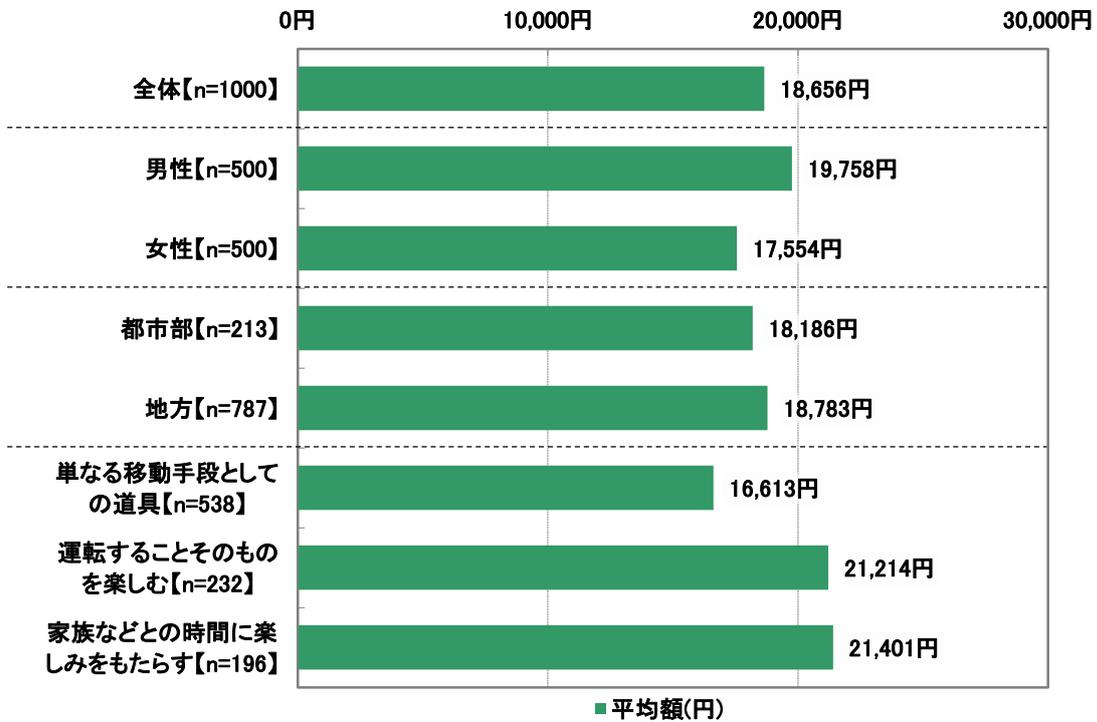
◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、1ヵ月いくらまでなら

掛けられるか ※自由回答



(図 12)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、1か月に掛けられる金額(平均)  
 ※自由回答より算出



(図 13)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、1か月に掛けられる金額(平均)  
 【2012年～2015年:経年比較】 ※自由回答より算出

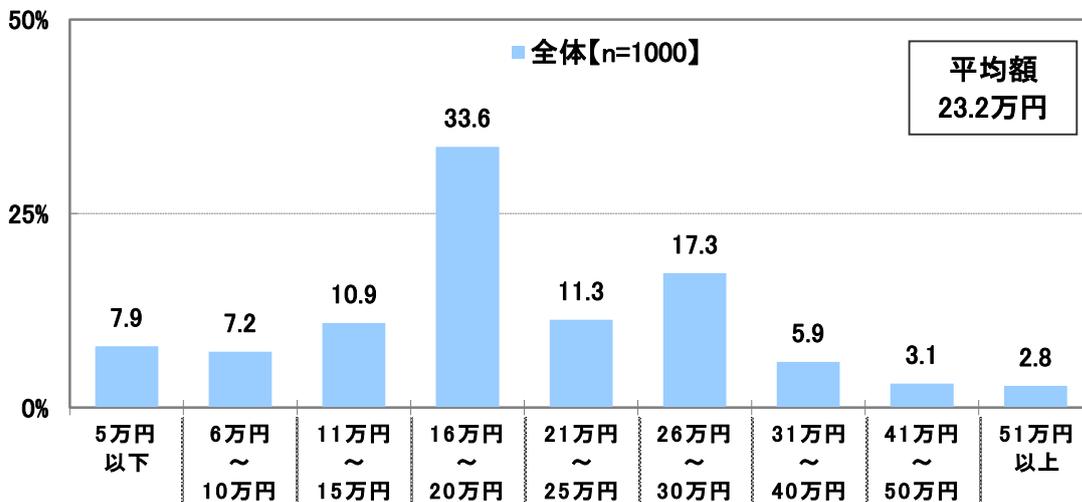


※2010年・2011年は該当設問なし

(円)

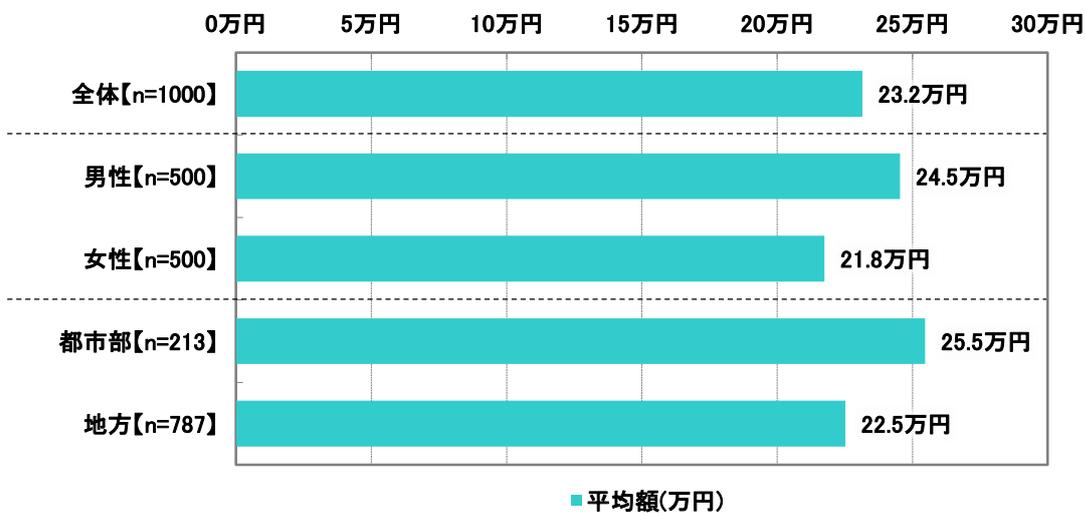
(図 14)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、必要な手取り月収はどの程度か ※自由回答



(図 15)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、必要な手取り月収(平均) ※自由回答より算出

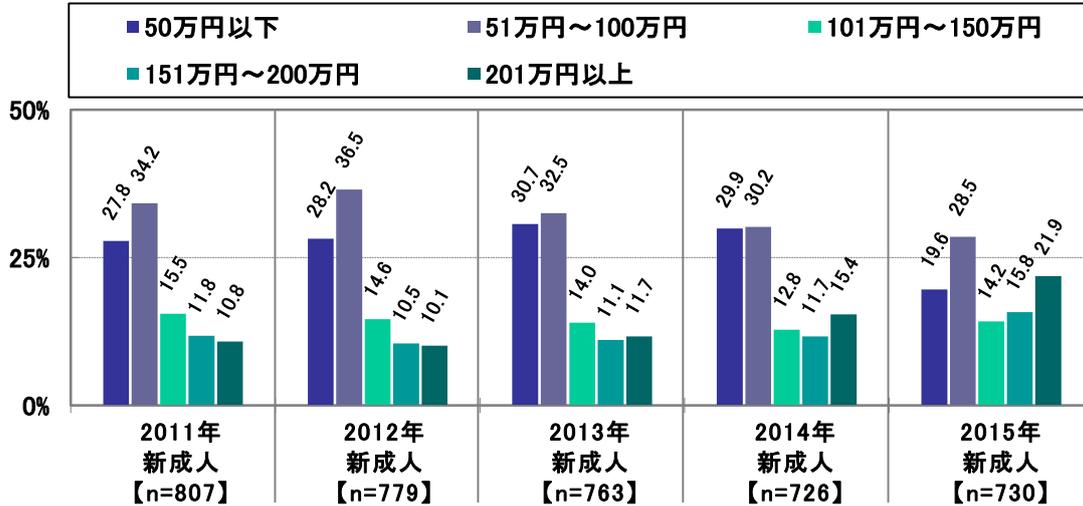


(図 16)

◆車を購入する際の上限予算 【2011年～2015年:経年比較】

※自由回答

対象者:運転免許保有者/取得予定者で、車を購入する予定はない人以外



※2010年は該当設問なし

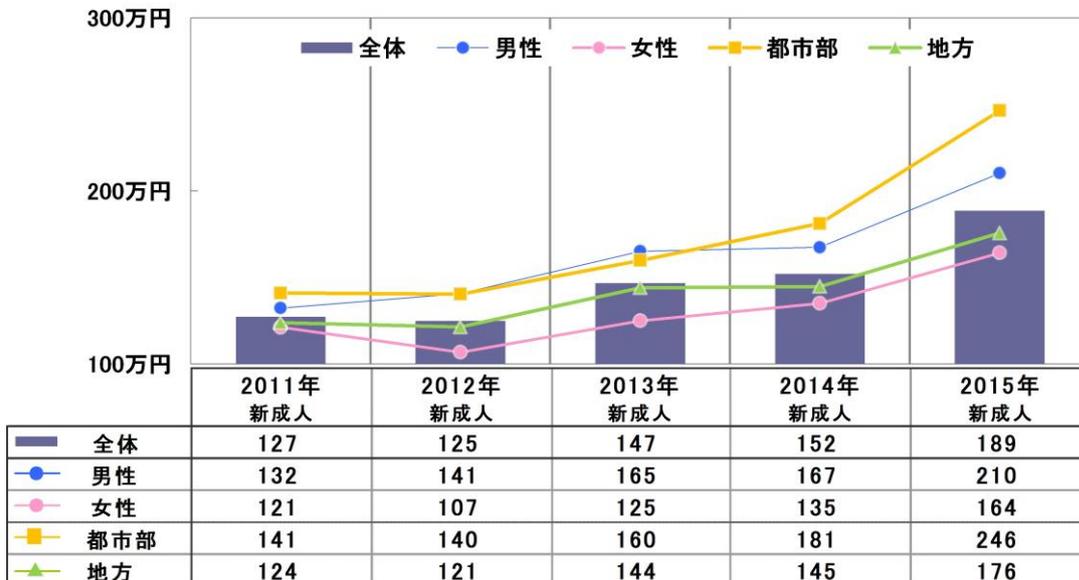
(図 17)

◆車を購入する際の上限予算の平均金額

【2011年～2015年:経年比較】

※自由回答より算出

対象者:運転免許保有者/取得予定者で、車を購入する予定はない人以外



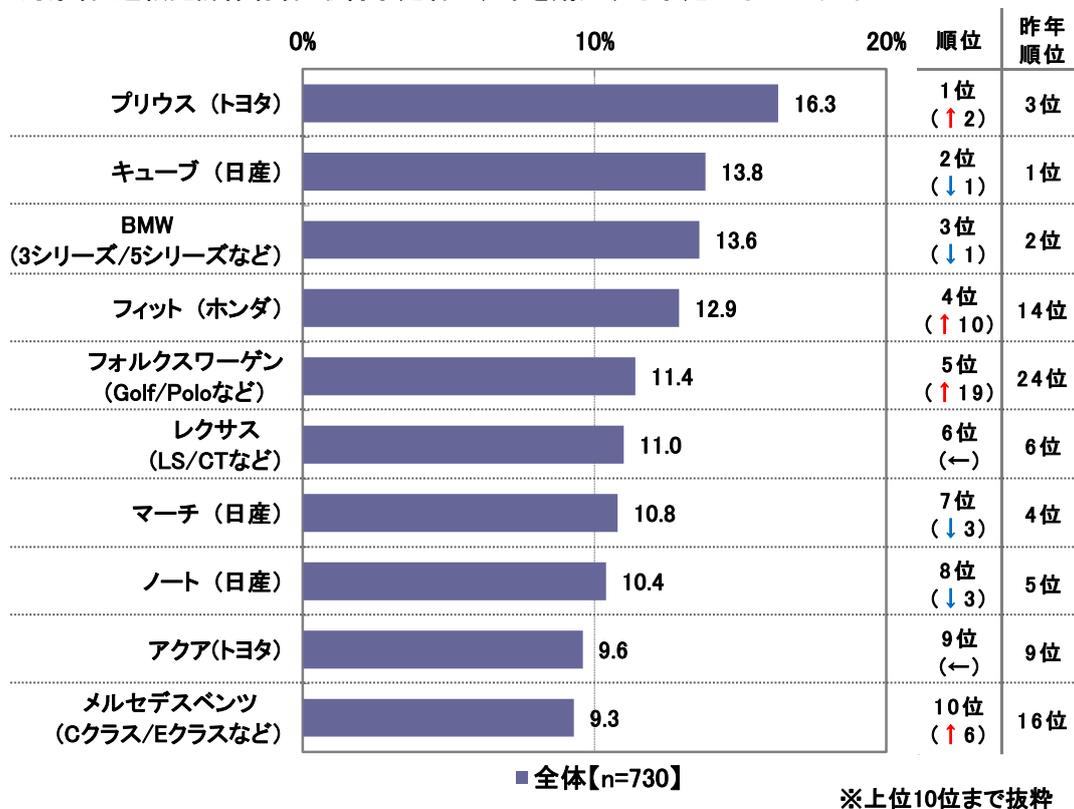
※2010年は該当設問なし

(万円)

(図 18)

◆車を購入する際に欲しい車 ※複数回答

対象者：運転免許保有者/取得予定者で、車を購入する予定はない人以外

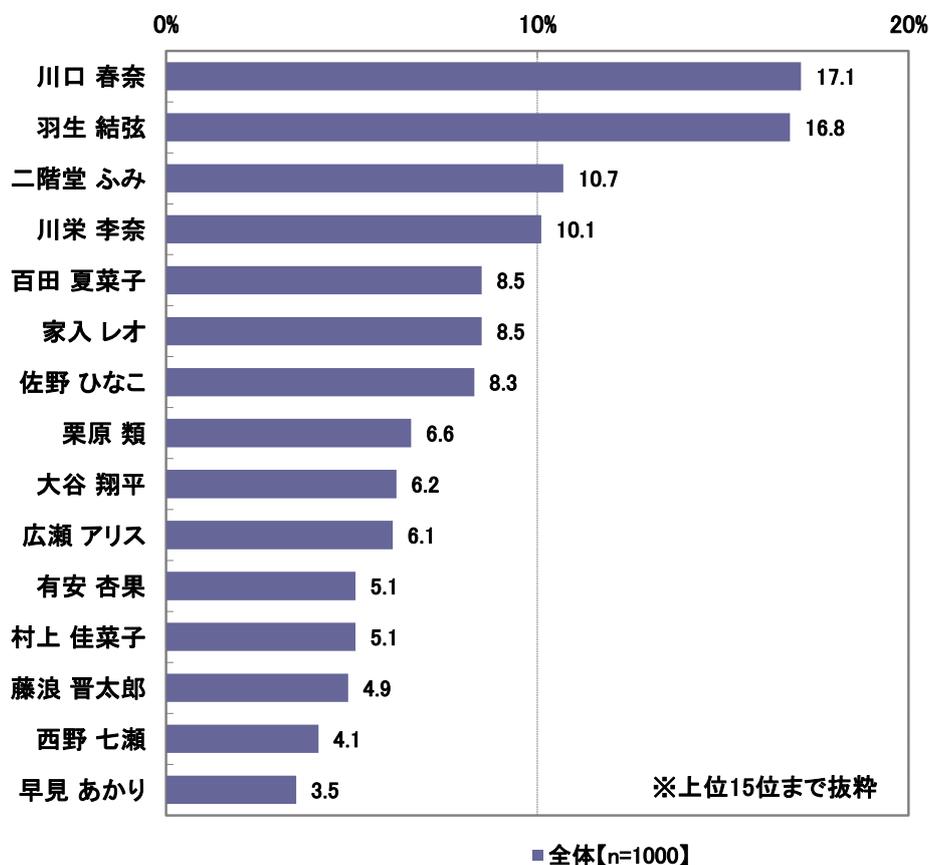


(図 19)

男性【n=386】 (%)			女性【n=344】 (%)		
1位	BMW (3シリーズ/5シリーズなど)	18.1	1位	キューブ (日産)	22.1
2位	プリウス (トヨタ)	16.6	2位	パッソ (トヨタ)	16.3
3位	フィット (ホンダ)	14.5	3位	プリウス (トヨタ)	16.0
4位	アウディ (A1/A3など)	13.7		マーチ (日産)	
5位	レクサス (LS/CTなど)	13.2	5位	モコ (日産)	15.7
6位	フォルクスワーゲン (Golf/Poloなど)	12.7	6位	タント (ダイハツ)	14.8
	メルセデスベンツ (Cクラス/Eクラスなど)		7位	ノート (日産)	13.4
7位	スカイライン (日産)	ミラココア (ダイハツ)			
9位	インプレッサ (スバル)	11.4	9位	フィット (ホンダ)	11.0
10位	86 (トヨタ)	10.9	10位	ムーヴ (ダイハツ)	10.8

(図 20)

◆同じ新成人(同じ学齢:1994年4月2日～1995年4月1日生まれ)で一緒にドライブに行きたい有名人 ※複数回答



(図 21)

男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	有名人	(%)	順位	有名人	(%)
1位	川口 春奈	18.0	1位	羽生 結弦	25.6
2位	川栄 李奈	13.2	2位	川口 春奈	16.2
3位	佐野 ひなこ	11.2	3位	二階堂 ふみ	12.2
4位	二階堂 ふみ	9.2	4位	百田 夏菜子	11.8
5位	大谷 翔平	8.2	5位	栗原 類	9.6
6位	羽生 結弦	8.0	6位	家入 レオ	9.4
7位	家入 レオ	7.6	7位	村上 佳菜子	7.2
8位	藤浪 晋太郎	6.6	8位	川栄 李奈	7.0
9位	西野 七瀬	5.8	9位	広瀬 アリス	6.6
10位	広瀬 アリス	5.6	10位	有安 杏果	6.2

## ◆調査概要◆

- ◆調査タイトル : 2015年 新成人のカーライフ意識調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
今年の新成人(1994年4月2日～1995年4月1日生まれ) 男性500名、女性500名
  
- ◆調査期間 : 2014年11月20日～11月28日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル(有効回答から1,000サンプルを抽出)
- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

## ■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「ソニー損保調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

## ■■本調査に関するお問合せ窓口■■

ソニー損害保険株式会社 ダイレクトマーケティング部 松田 安弥美  
TEL : 03-5744-8755  
Eメール : matsuda-a@sonysonpo.co.jp  
受付時間 : 9時～17時30分(月～金)

## ■■会社概要■■

会社名 : ソニー損害保険株式会社  
代表者名 : 代表取締役社長 丹羽淳雄  
設立 : 1998年6月10日  
(ソニーインシュアランスプランニング株式会社として設立)  
所在地 : 東京都大田区蒲田 5-37-1 アロマスクエア 11F  
業務内容 : 損害保険業

ソニー損保のスローガンは『“Feel the Difference”～この違いが、保険を変えていく。～』です。  
お客様にとって価値ある「違い=Difference」をビジネスのあらゆる領域において創造し、お客様に提供  
していこうという私たちの意思を表しています。

また、お客様にとって少しでも価値ある情報を提供できるよう、「[お客様とソニー損保のコミュニケーションサイト](#)」を設置して、[お客様の評価\(みんなの満足度\)](#)や[お客様の声\(コエキク質問箱\)](#)、[担当者の取組み\(コエキク改善レポート\)](#)、[保険に関するさまざまな情報\(保険なるほど知恵袋\)](#)を提供しています。  
ソニー損保ならではの違いを感じていただければ幸いです。

会社および商品の詳細は <http://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。